

😊 三重県交通安全研修センターだよ！ 😊

～三重県交通安全研修センターをご存知ですか？～

幼児から高齢者まですべての方が、日常生活の中に潜んでいる交通に関する様々な危険について学習し、楽しみながら身をもって交通ルールやマナーを学ぶことが出来る施設です。
団体研修も行っています！

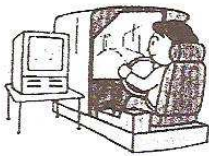
ご利用はすべて無料！

- ♪ 開館時間：午前 9:30～午後 4:30
- ♪ 休館日：土曜・祝日・年末年始
(12/29～1/3)
- ♪ (TEL) 059-224-7721
- ♪ (FAX) 059-224-7641
- ♪ 〒514-8518 津市壘水2566
(三重県運転免許センター4階)
- ♪ <http://www.safetyplaza-mie.com>

～ 聞く・見る・体験する ～

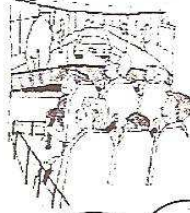
シミュレータ

あなたの反応時間は？
的確な判断できる？



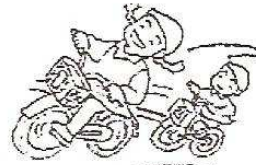
展示ゾーン

どんな危険があるの？
夜間・死角・交差点…



自転車コース

ルール知ってるかな？
自転車も車の仲間だよ



実車体験

いざという時大丈夫？
車は急にとまれない！



実際に聞いて・見て・体験することが大切です！一人でも大丈夫、お気軽にお越し下さい。団体研修はお電話でご予約下さい。お待ちしております！



『緊急地震速報』

●.....● 数秒後の大きな揺れがわかります ●.....●

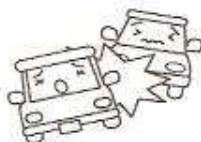
『緊急地震速報』は、テレビやラジオを介して伝えられます。車の場合、車内にテレビがあれば音声を通して速報を得ることができますが、一般的にはラジオから情報を得ることになります。

『緊急地震速報』とは、大きな揺れが来る前に予想震度などを伝えるシステムです。

地震の揺れには、P波(初期微動)とS波があり、P波のほうが速度が早いため、S波より速く伝わります。そこで、地震に近い所でP波を検地してS波が到達する前に速報を流すということが出来るのです。

では、運転中に『緊急地震速報』を受信した場合の対処は.....

- まずハザードランプを点灯し、回りの車に注意を促します。
- 急ブレーキはかけずに緩やかに減速する。
この時に急ブレーキは厳禁です！！
後続車が速報を聞いていないことがあります。
- 大きな揺れを感じたら道路の左側に停止する。



車を運転中に大地震が発生したときは.....

- 停止後は、ラジオで地震情報や交通情報を聞き、その情報や周囲の状況に応じて行動すること。
- 車を置いて避難するときは、できるだけ道路外の場所に移動しておくこと。
やむを得ず道路上に置いて非難するときは、道路の左側に寄せて駐車し、エンジンを止め、エンジンキーは付けたままとし、窓を閉め、ドアはロックしないこと。
- 駐車するときは、避難する人の通行や災害応急対策の実施の妨げとなるような場所には駐車しないこと。



◇◇◇◇◇◇◇◇ 運転中の腰痛解消法 ◇◇◇◇◇◇◇◇

長時間、車を運転していると腰が痛くなって...という方も多いと思います。

腰痛は、人間が二足歩行になったことで起こる宿命だそうです。重たい頭を背骨が支える。これだけで背骨に大きな負担がかかっている上に、座って前かがみの姿勢は良くないそうです。長時間運転していると、知らず知らずのうちにこのような運転姿勢になってしまいがちです。座席は背中曲線に合わせてカーブしています。

腰痛を防ぐためには、運転席の位置や角度を調整し、背もたれにしっかりお尻をつけて無理のない姿勢で運転すること。そして、1時間に1度は休憩し、固まっている背骨や腰をストレッチ運動でほぐす。これで腰痛しらずの楽しいドライブをしましょう！



飲酒運転による悲劇を繰り返さないために
 ~皆さん一人ひとりが〈主役〉になれば、
 飲酒運転、悪質・危険な運転は根絶できます~

本年も道路交通法の一部改正により飲酒運転に対する罰則が強化されましたが、それでも飲酒運転による事故は、なくなりません。

車の運転というのは「認知」・「判断」・「操作」という一連の行動で成り立っていますが、飲酒による影響は、その運転に必要な基本的心身能力を低下させてしまい、危険な行為にかえてしまうことです。

皆さんは、アルコールは興奮剤と抑制剤のどちらの効果をもたらすと思いますか？

実は、アルコールは抑制剤になっています。何を抑制するのかと言うと、知性や正しい感情が抑制されていくのです。ですから、「今日は、車を置いて帰ろう」と思っていたのに、その正しい判断が抑制されてしまい、飲酒運転をしてしまう……



ある飲酒運転をした人へのアンケート結果では、その半数近くが飲酒をすれば能力が低下することはわかっているが、「速度を低めに」、「車間距離を多めに」、「信号、標識をまもる」等、飲酒していることを意識して、普段よりも安全な運転に努めればアルコールによる能力低下を補完でき、事故は起こさないと考えていました。ですが、実際には車の運転には様々な能力が必要であり、アルコールの影響でそれぞれの能力が低下するため、本人が考えている以上に総合的な運転能力は非飲酒時に比べてかなり低下すると考えられています。

飲酒運転による事故の危険性は、事故に遭遇する可能性が大きくなるという事故発生率の上昇、事故に遭遇した際にそれが死亡事故や重傷事故等の重大な事故になる可能性という重大事故の構成率の上昇になります。

□□□□□□□飲酒運転根絶のために！□□□□□□□□

飲酒運転防止のために、罰則の強化が進み、その効果は、最近の飲酒事故件数の減少からも伺えますが、長期的に飲酒運転を抑制し続けるためには、厳しい罰則で人の行動を押さえ込むだけでは不十分であり、運転者に飲酒運転の危険性についての的確な情報を提供することが重要であります。

飲酒によって事故発生率は高くなっても、実際に事故に関わる率が高くなったことを実感することは難しく、いくら飲酒運転によって事故発生率が上昇すると説明しても自らが運転経験の中でそれを実感できないと、提供された情報も他人事になってしまいます。



また、飲酒運転をしても事故や危険な状況に遭遇しなかったという経験が、自分は他の人と違って事故を起こす運転者ではないと過信させてしまうかもしれない。

ですが、飲酒運転による痛ましい事故は、事故を起こした運転者だけが特別なわけではありません。飲酒運転をしていれば誰にでも起こりえることだということを認識して、絶対に飲酒運転をしないでください。

冬の準備、できていますか？

*冬は雪や路面の凍結が心配です。また気温が低いため、冷えきった車は様々な機能が低下することでトラブルが発生しがちです。適切な運転を心掛けましょう！！

- ・冬は10分早く 冬の朝は、気温が低いため、他の時期よりも濃い目の混合気でエンジンを始動させるようになっていきます。エンジンの回転がまだ本調子でない時に何度もアクセルを踏み込んでしまうとエンジンがかからなくなってしまうのです。寒い冬の朝は、10分早起きして、少しエンジンを回してから走るように心掛けましょう。
- ・凍結の備え 極寒地では、バッテリーの機能低下の他にも、車に使用されている様々な液体が凍ることによってトラブルが発生することがあります。ウォッシャー液を通常の使用時と同じように薄めたままで使っていると噴射した瞬間、凍ってしまってガラスが真っ白になってしまいます。原液のまま使用しましょう。また冷却液には凍結防錆剤（LLC）を入れましょう。濃度は通常30%で、零下15度まで凍結しないようになっていますが、寒冷地では役不足な場合があります。LLC濃度を50%にしておけば、零下30度でも耐えられるので安心です。
- ・スタッドレスタイヤでもチェーンをつけましょう



スタッドレスタイヤさえ履いていれば、どんな雪道でも走れると思いがちですが、決して万能ではありません。スタッドレスタイヤの弱点は、アイスバーンや雪の深い場所です。雪道に出かける時は念のために必ずチェーンを携帯するようにしてください。またスタッドレスタイヤは、ノーマルタイヤに比べて舗装路でのグリップ性能は低下します。スキー場行く途中の高速道路などでは、安定性が悪く、制動距離も伸びることを覚えておきましょう。チェーンを装着する時は路肩ではなく、安全な場所で装着しましょう。



夕暮れ時、ちょっと早めのライトオン



夕暮れ時の安全運転をより確実なものにしましょう！！

自動車・自転車利用者は、夕暮れ時早めにライトを点灯しましょう。

夕暮れは1日のうちで交通事故が多発する時間帯です。ライトをつけるという事は、周りを照らし運転手が見やすくなるためでもあります、周りに自分の存在をわかってもらうためでもあります。

歩行者・自転車利用者は、反射材を着用しましょう。

夜の安全は自分を見せることです。反射材を活用しましょう。

反射材の効果

反射材を着用していると、車から120m離れていても確認できます。

白っぽい服を着ている時は車から50m離れたところまで確認できます。

黒っぽい服を着ている時は車から30mまでしか確認できません。

